

2020年3月期 第2四半期決算概要

2019年11月12日

会 社 名 ソニー損害保険株式会社

(URL <https://www.sonysonpo.co.jp/>)

代 表 者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 丹羽 淳雄

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 村上 敏也 TEL (03) 5744-0320

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期 (中間期) の業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	正味収入保険料		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年 9月中間期	59,307	4.9	5,770	5.9	4,111	5.6
2018年 9月中間期	56,520	5.1	5,449	18.8	3,894	16.1

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2019年 9月中間期	10,277 90	—
2018年 9月中間期	9,735 11	—

(2) 財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
2019年 9月中間期	225,286	36,320	16.1	90,801	62
2019年 3月期	219,643	34,798	15.8	86,997	41

(参考) 自己資本 2019年9月中間期 36,320百万円 2019年3月期 34,798百万円

2. その他

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | 無 |
| ④ 修正再表示 | 無 |

(2) 発行済株式数 (普通株式)

- | | | |
|-----------------|---------------------|---------------------|
| ① 期末発行済株式数 | 2019年9月中間期 400,000株 | 2019年3月期 400,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2019年9月中間期 一株 | 2019年3月期 一株 |
| ③ 期中平均株式数 (中間期) | 2019年9月中間期 400,000株 | 2018年9月中間期 400,000株 |

1. 中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当中間会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
現金及び預貯金	20,043	31,290
有価証券	157,959	153,297
有形固定資産	1,689	1,491
無形固定資産	10,012	10,961
その他資産	18,609	16,470
未収金	11,115	8,916
その他の資産	7,493	7,554
繰延税金資産	11,328	11,776
資産の部合計	219,643	225,286
負債の部		
保険契約準備金	168,494	175,104
支払備金	40,674	41,157
責任準備金	127,819	133,946
その他負債	13,018	10,515
未払法人税等	1,938	2,345
その他の負債	11,080	8,170
退職給付引当金	1,857	1,881
賞与引当金	1,236	1,210
特別法上の準備金	238	253
価格変動準備金	238	253
負債の部合計	184,844	188,966
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	3,389	3,389
利益剰余金	10,460	12,071
株主資本合計	33,849	35,460
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	949	859
評価・換算差額等合計	949	859
純資産の部合計	34,798	36,320
負債及び純資産の部合計	219,643	225,286

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間		当中間会計期間	
	(自	2018年4月1日	(自	2019年4月1日
	至	2018年9月30日)	至	2019年9月30日)
経常収益		57,762		60,672
保険引受収益		56,552		59,346
(うち正味収入保険料)		56,520		59,307
(うち積立保険料等運用益)		32		38
資産運用収益		1,172		1,302
(うち利息及び配当金収入)		679		668
(うち有価証券売却益)		526		672
(うち積立保険料等運用益振替)	△	32	△	38
その他経常収益		36		23
経常費用		52,312		54,901
保険引受費用		38,974		40,535
(うち正味支払保険金)		26,830		28,821
(うち損害調査費)		4,031		4,269
(うち諸手数料及び集金費)		867		834
(うち支払備金繰入額)		1,782		483
(うち責任準備金繰入額)		5,463		6,127
資産運用費用		0		-
(うち有価証券売却損)		0		-
営業費及び一般管理費		13,336		14,363
その他経常費用		0		2
経常利益		5,449		5,770
特別利益		-		-
特別損失		20		33
固定資産処分損		4		18
特別法上の準備金繰入額		15		15
価格変動準備金繰入額		15		15
税引前中間純利益		5,429		5,736
法人税及び住民税		1,802		2,039
法人税等調整額	△	267	△	413
法人税等合計		1,535		1,625
中間純利益		3,894		4,111

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

(単位：百万円)

	株 主 資 本						株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益 剰余金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	20,000	3,389	3,389	610	7,261	7,872	31,261
当中間期変動額							
剰余金の配当	—	—	—	482	△ 2,894	△ 2,412	△ 2,412
中間純利益	—	—	—	—	3,894	3,894	3,894
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	—	—	—	—	—	—	—
当中間期変動額合計	—	—	—	482	999	1,482	1,482
当中間期末残高	20,000	3,389	3,389	1,092	8,261	9,354	32,743

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	1,927	1,927	33,189
当中間期変動額			
剰余金の配当	—	—	△ 2,412
中間純利益	—	—	3,894
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	△ 675	△ 675	△ 675
当中間期変動額合計	△ 675	△ 675	807
当中間期末残高	1,252	1,252	33,996

当中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

(単位：百万円)

	株 主 資 本						株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益 剰余金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	20,000	3,389	3,389	1,092	9,367	10,460	33,849
当中間期変動額							
剰余金の配当	—	—	—	500	△ 3,000	△ 2,500	△ 2,500
中間純利益	—	—	—	—	4,111	4,111	4,111
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	—	—	—	—	—	—	—
当中間期変動額合計	—	—	—	500	1,111	1,611	1,611
当中間期末残高	20,000	3,389	3,389	1,592	10,478	12,071	35,460

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	949	949	34,798
当中間期変動額			
剰余金の配当	—	—	△ 2,500
中間純利益	—	—	4,111
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	△ 89	△ 89	△ 89
当中間期変動額合計	△ 89	△ 89	1,521
当中間期末残高	859	859	36,320

(4) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間		当中間会計期間	
	(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前中間純利益 (△は損失)	5,429		5,736	
減価償却費	1,211		1,193	
支払備金の増減額 (△は減少)	1,782		483	
責任準備金の増減額 (△は減少)	5,463		6,127	
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	99		23	
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 15		△ 25	
価格変動準備金の増減額 (△は減少)	15		15	
利息及び配当金収入	△ 679		△ 668	
有価証券関係損益 (△は益)	△ 526		△ 672	
有形固定資産関係損益 (△は益)	2		18	
無形固定資産関係損益 (△は益)	2		-	
その他資産 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は増加)	2,377		2,132	
その他負債 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は減少)	△ 2,054		△ 2,364	
小 計	13,107		12,000	
利息及び配当金の受取額	862		877	
法人税等の支払額	△ 2,061		△ 1,633	
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,908		11,245	
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有価証券の取得による支出	△ 27,952		△ 8,064	
有価証券の売却・償還による収入	17,018		13,071	
資産運用活動計	△ 10,934		5,007	
営業活動及び資産運用活動計	974		16,252	
有形固定資産の取得による支出	△ 161		△ 232	
その他	△ 2,679		△ 2,273	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,775		2,501	
財務活動によるキャッシュ・フロー				
配当金の支払額	△ 2,412		△ 2,500	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,412		△ 2,500	
現金及び現金同等物に係る換算差額	-		-	
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 4,278		11,246	
現金及び現金同等物の期首残高	23,778		20,043	
現金及び現金同等物の中間期末残高	19,500		31,290	

2. その他情報

損益状況の対前期比較

(単位：百万円)

科 目		期 別		比較増減	増減率
		前中間会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		
元受正味保険料(含む収入積立保険料)		55,950	59,096	3,145	5.6%
(元受正味保険料)		(55,950)	(59,096)	(3,145)	(5.6)
経	保険引受収益	56,552	59,346	2,793	4.9
	(うち正味収入保険料)	(56,520)	(59,307)	(2,787)	(4.9)
常	保険引受費用	38,974	40,535	1,560	4.0
	(うち正味支払保険金)	(26,830)	(28,821)	(1,990)	(7.4)
	(うち損害調査費)	(4,031)	(4,269)	(237)	(5.9)
	(うち諸手数料及び集金費)	(867)	(834)	(△33)	(△3.8)
	資産運用収益	1,172	1,302	129	11.1
損	(うち利息及び配当金収入)	(679)	(668)	(△10)	(△1.6)
	(うち有価証券売却益)	(526)	(672)	(146)	(27.9)
	資産運用費用	0	—	△0	△100
	(うち有価証券売却損)	(0)	(—)	(△0)	(△100)
益	営業費及び一般管理費	13,336	14,363	1,026	7.7
	(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(13,304)	(14,325)	(1,021)	(7.7)
	その他経常損益	35	20	△15	△42.7
益	経常利益	5,449	5,770	320	5.9
	(保険引受利益)	(4,272)	(4,484)	(212)	(5.0)
特別損益	特別利益	—	—	—	—
	特別損失	20	33	13	63.6
	特別損益	△20	△33	△13	—
税引前中間純利益		5,429	5,736	307	5.7
法人税及び住民税		1,802	2,039	236	13.1
法人税等調整額		△267	△413	△145	—
法人税等合計		1,535	1,625	90	5.9
中間純利益		3,894	4,111	217	5.6
諸比率	正味損害率	54.6%	55.8%		
	正味事業費率	25.1%	25.6%		
修正経常利益		7,244	7,683	438	6.1
E.I.損害率		61.2%	60.6%		

- (注) 1. 保険引受利益 = 保険引受収益 - (保険引受費用 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ± その他収支
 なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などであります。
2. 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料 × 100
3. 正味事業費率 = (諸手数料及び集金費 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ÷ 正味収入保険料 × 100
4. 修正経常利益 = 経常利益 + 異常危険準備金繰入額※
 ※異常危険準備金戻入の場合は、「異常危険準備金繰入額」はマイナスとなります。
5. E.I.損害率 = (正味支払保険金 + 支払備金繰入額 + 損害調査費) ÷ 既経過保険料 × 100
 なお、地震保険および自動車損害賠償責任保険を除いております。

種目別保険料・保険金

元受正味保険料

(単位：百万円)

種 目	期 別	前中間会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)			当中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
火 災		110	0.2	7.0	819	1.4	645.0
海 上		—	—	—	—	—	—
傷 害		4,361	7.8	0.3	4,637	7.8	6.3
自 動 車		51,478	92.0	5.8	53,638	90.8	4.2
自動車損害賠償責任		—	—	—	—	—	—
合 計		55,950	100.0	5.3	59,096	100.0	5.6

正味収入保険料

(単位：百万円)

種 目	期 別	前中間会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)			当中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
火 災		8	0.0	8.5	449	0.8	5,023.9
海 上		—	—	—	0	0.0	—
傷 害		4,441	7.9	△ 0.3	4,502	7.6	1.4
自 動 車		51,336	90.8	5.7	53,491	90.2	4.2
自動車損害賠償責任		733	1.3	△ 6.0	863	1.5	17.7
合 計		56,520	100.0	5.1	59,307	100.0	4.9

正味支払保険金

(単位：百万円)

種 目	期 別	前中間会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)			当中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		
		金 額	増減率	正 味 損害率	金 額	増減率	正 味 損害率
火 災		3	63.8	269.9	9	131.2	7.8
海 上		2	△ 36.4	—	△ 3	△ 266.5	—
傷 害		1,402	3.0	35.2	1,559	11.2	37.8
自 動 車		24,749	8.0	55.7	26,595	7.5	57.4
自動車損害賠償責任		671	2.6	91.6	660	△ 1.6	76.6
合 計		26,830	7.6	54.6	28,821	7.4	55.8

リスク管理債権

該当事項はありません。

有価証券関係

1. 満期保有目的の債券

(単位：百万円)

種 類		前事業年度 (2019年3月31日)			当中間会計期間 (2019年9月30日)		
		貸借対照表 計上額	時 価	差 額	中間貸借対照表 計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照 表計上額を超え るもの	公 社 債	79,921	101,571	21,650	78,489	103,025	24,536
	外国証券	198	208	10	198	206	8
	小 計	80,119	101,779	21,660	78,687	103,232	24,545
時価が貸借対照 表計上額を超え ないもの	公 社 債	—	—	—	1,550	1,477	△ 72
	小 計	—	—	—	1,550	1,477	△ 72
合 計		80,119	101,779	21,660	80,237	104,710	24,472

2. その他有価証券

(単位：百万円)

種 類		前事業年度 (2019年3月31日)			当中間会計期間 (2019年9月30日)		
		貸借対照表 計上額	取得原価	差 額	中間貸借対照表 計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上 額が取得原価を 超えるもの	公 社 債	49,970	49,899	70	48,912	48,854	57
	株 式	1,599	324	1,274	1,364	202	1,161
	外国証券	—	—	—	200	200	0
	小 計	51,569	50,223	1,345	50,476	49,257	1,219
貸借対照表計上 額が取得原価を 超えないもの	公 社 債	26,271	26,298	△ 27	21,282	21,301	△ 19
	外国証券	—	—	—	1,299	1,305	△ 5
	小 計	26,271	26,298	△ 27	22,582	22,607	△ 25
合 計		77,840	76,521	1,318	73,059	71,865	1,194

単体ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当中間会計期間 (2019年9月30日)
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額	60,010	65,803
資本金又は基金等	31,349	34,210
価格変動準備金	238	253
危険準備金	122	126
異常危険準備金	24,636	26,548
一般貸倒引当金	-	-
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)	1,186	1,074
土地の含み損益	-	-
払戻積立金超過額	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	-	-
控除項目	-	-
その他	2,476	3,588
(B) 単体リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2}+R_5+R_6$	14,760	15,019
一般保険リスク (R ₁)	13,181	13,436
第三分野保険の保険リスク (R ₂)	0	0
予定利率リスク (R ₃)	123	128
資産運用リスク (R ₄)	1,861	1,895
経営管理リスク (R ₅)	325	331
巨大災害リスク (R ₆)	1,105	1,100
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	813.0 %	876.2 %

注. 「単体ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条（単体ソルベンシー・マージン）および第87条（単体リスク）ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出された比率です。

<単体ソルベンシー・マージン比率>

・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。

・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「単体リスクの合計額」（上表の(B))に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（すなわち単体ソルベンシー・マージン総額：上表の(A))の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたものが、「単体ソルベンシー・マージン比率」（上表の(C))であります。

・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。

- | | |
|--|---|
| ①保険引受上の危険
(一般保険リスク)
(第三分野保険の保険リスク) | : 保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険（巨大災害に係る危険を除く） |
| ②予定利率上の危険
(予定利率リスク) | : 実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険 |
| ③資産運用上の危険
(資産運用リスク) | : 保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等 |
| ④経営管理上の危険
(経営管理リスク) | : 業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの |
| ⑤巨大災害に係る危険
(巨大災害リスク) | : 通常の予測を超える巨大災害（関東大震災や伊勢湾台風相当）により発生し得る危険 |

・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（単体ソルベンシー・マージン総額）とは、損害保険会社の純資産（社外流出予定額等を除く）、諸準備金（価格変動準備金・異常危険準備金等）、土地の含み益の一部等の総額であります。

・単体ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。